

| No. | 実施大学 | 授業科目名 | 担当教員 | 単位数 | 開講区分 | 曜日 | 予定回数 | 時間 | 実施場所 | 定員 |
|-----|------|---------|---------------------|-----|------|----|------|------------|------------------|-----|
| 21 | 杏林大学 | 国際政治経済学 | 三浦 秀之 総合政策学部 准教授 | 2 | 秋学期 | 火 | 15 | 9:00～10:30 | 杏林大学 井の頭キャンパス | 1～2 |

【到達目標】

政治と経済の相互作用に着目し、国際政治経済学の理論的枠組みを用いながら、現代社会の複雑に入り組んだ課題を考察できるようになること。

*学位授与の方針との関連:この科目は総合政策学部が学位授与の方針において定めている卒業時点までに獲得すべき能力のうち、(6)学際性の軸となる専門的な知識を養うことを目的としている。

【授業の概要】

国際社会はアナーキーである。つまり、国内社会と異なり、中央政府が存在しないのである。しかしながら、そのことは国際社会に秩序が存在しないことを意味するのではない。国際社会は様々な制度を構築することにより、国境を越える経済的に問題に対処してきたのである。本講義では、国際政治経済学の基礎を体系的に学ぶことを目指しています。具体的には、近代以降の国家間の経済関係(特に貿易や投資の自由化)の政治的側面に焦点を当て、概観して行きます。

【授業内容】

第1回 イントロダクション【講義と質疑応答】

第2回 国際政治経済の見方:国際政治経済学の理論と歴史について学ぶ【講義と質疑応答】

第3回 力の構造と国際経済体制:パワーと国際経済の関連性について学ぶ【講義と質疑応答】

第4回 冷戦とブレトンウッズ体制:戦後の国際秩序がいかにして力の構造を背景にしなが国際経済体制を構築したのかについて学ぶ【講義と質疑応答】

第5回 安全保障と経済:安全保障と経済がお互いのいかなる相互作用が生じているのかについて学ぶ【講義と質疑応答】

第6回 保護貿易をめぐる政治と経済:国家がいかなる理由で貿易を保護しようとするのか政治と経済のつながりをみながら学ぶ【講義と質疑応答】

第7回 金融グローバル化の構図:金融がいかにしてグローバル化の影響を受けているのかについて、その光と影について学ぶ【講義と質疑応答】

第8回 科学技術と現代国際関係:グローバル化の進展をもとに各国の科学技術がいかにして発展し、イノベーションを促しているのかについて学ぶ【講義と質疑応答】

第9回 移民をめぐる政治と経済:グローバル化の進展により国境の障壁が低くなったことによる移民の増加によるともなうメリットとデメリットについて学ぶ【講義と質疑応答】

第10回 経済発展と人権, 民主化:経済発展にともない途上国における人権と民主化がいかにして発展していくのか学ぶ【講義と質疑応答】

第11回 地球環境をめぐる政治経済:地球環境をめぐる課題がいかにしてグローバル・レベルで話し合われているのかについて学ぶ【講義と質疑応答】

第12回 グローバル・レベルの国際秩序の模索:貿易と金融をめぐる課題がいかにしてグローバル・レベルで展開され、制度化されているのかについて学ぶ【講義と質疑応答】

第13回 リージョナル・レベルの国際秩序の模索:貿易と金融をめぐる課題がいかにしてリージョナル・レベルで展開され、制度化されているのかについて学ぶ【講義と質疑応答】

第14回 ナショナル・レベルからの国際秩序の模索:貿易と金融をめぐる課題がいかにしてナショナル・レベルで展開され、制度化されているのかについて学ぶ【講義と質疑応答】

第15回 総括:これまでの講義をもとに、今後の国際政治経済秩序について議論する【講義と質疑応答】

*課題に対するフィードバックの方法:毎回授業の始めに前回の課題についてフィードバックを行う。

【成績評価方法】

期末試験 50%、レポート 50%によって総合的に評価します。

【教科書】

野林健、大芝亮、納家政嗣、山田敦、長尾悟著 (2007年)『国際政治経済学・入門 第3版』有斐閣アルマ

【参考書、教材等】

※ この授業は、9/21(火)が初回です。